報道発表資料

2024 年 11 月 27 日
アステリア株式会社
Tapway Sdn Bhd.

ノーコード AI/IoT 統合プラットフォーム「Asteria AIoT Suite」日本語版提供開始！
AI 推論モデルの構築～センサーデータ収集～生成 AI 活用までをノーコードで完結
様々な業務を AI と IoT で自動化し、人手不足の解消や業務効率化を実現

アステリア株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：平野洋一郎、証券コード：3853、以下アステリア）と Tapway Sdn Bhd.（本社：マレーシアセランゴール州、CEO：Chee How Lim、以下 Tapway）は、本日より、データ収集、統合、管理、活用までをノーコードかつワンストップで利用できるノーコード AI/IoT 統合プラットフォーム「Asteria AIoT Suite」（以下、AIoT Suite）の日本語版を提供開始することを発表します。

■「AIoT Suite」提供の背景

業務のデジタル化や DX の加速に伴い、世界の AI 市場規模が急成長しています。その中でも AI の日本国内市場では、カメラや IoT などのセンサーから収集した多様で膨大なデータの活用ニーズが拡大しており、2025 年度には 1,200 億円の市場規模へ拡大する見込み※1 です。このような背景の中、AI 推論モデルの構築や、画像認識 AI と IoT センサーの連携需要が高まっています。

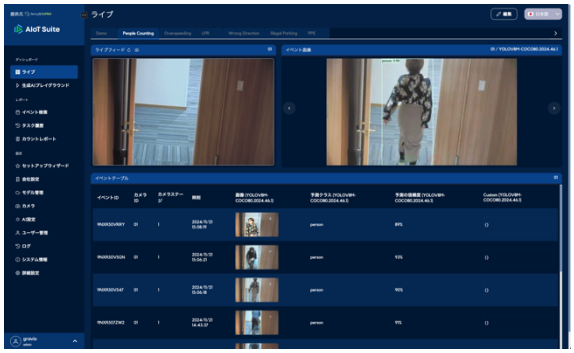
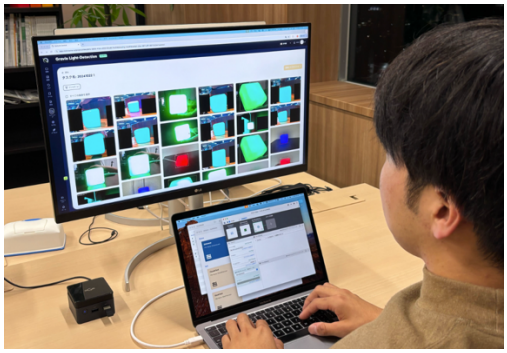
一方、自社独自の AI 推論モデルの構築、AI や IoT を介して収集したデータの活用や、多様なシステムとの連携にはプログラミング技術が必要であることが導入の大きなハードルとなっています。そこで、アステリアと Tapway は 2024 年 6 月に業務提携を締結し、これらの課題を解決するノーコード AI/IoT 統合プラットフォーム「AIoT Suite」を共同開発しました。

■「AIoT Suite」日本語版の概要

AIoT Suite は、AI 推論モデルの構築から、データ収集、統合、管理、他システムとの連携、IoT を含めた様々な機器の操作をワンストップで完結することができるノーコード AI/IoT 統合プラットフォームです。従来は、外部企業に多額の費用をかけて委託していた自社独自の AI 推論モデルの構築やシステム連携をノーコードで実現します。

さらに、人手や目視によるアナログ業務を、IoT センサーや AI カメラによる自動検知、生成 AI の情報処理、ライトなどの制御機器の作動によるオートメーション化により効率化します。これらの機能をノーコードで実装できることで、多様な業務の人手不足解消や業務効率化に貢献します。

<AIoT Suite の特徴>
・全工程がノーコードでプログラミング知識がなくても自社ニーズに合わせた AI 活用が完結
・自社の目的に応じた独自の AI 推論モデルをノーコードで構築可能
・AI と IoT の組み合わせにより視覚情報やセンサーデータを活用した業務の自動化を実現
・クラウドにアクセスせずエッジで処理することで処理スピード向上や機密性も担保

AIoT Suite 操作画面（人物検知の様子）	AI 推論モデルを作成している様子
	

すでに提供を開始している AIoT Suite 英語版は、マレーシアのゴム製品メーカー「Jebco」が採用し、製造現場の生産ラインにおける品質保持用途で活用されています。アステリアと Tapway は、今後「AIoT Suite」を製造業などを中心に国内外に展開し、2 年間で 1 億円の売上を目指します。

※：令和 4 年版情報通信白書（総務省発表資料）第 2 部第 6 節
https://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/ja/r04/html/nd236910.html

＜価格表＞

製品名	機能	価格（税込）
AIoT Suite SamurAI Copilot 月額サブスクリプション（カメラ 1 台あたり）	構築した AI 推論を実行するエッジサービス	16,500 円/月
AIoT Suite SamurAI Central 月額サブスクリプション ※別途 AI 推論構築費用が発生（1,100 円/時間）	AI 推論構築クラウドサービス	110,000 円/月

製品サイト：https://www.gravio.com/jp/aiotsuite

■「アステリア株式会社」について（Web サイト https://jp.asteria.com/ ）

アステリアは社会や企業を「つなぐ」エキスパートとして「ソフトウェアで世界をつなぐ」をコンセプトに、ヒト、モノ、オモイを「つなぐ」製品やサービスを提供するソフトウェア開発企業です。基幹製品の ASTERIA Warp は、様々なシステムやクラウドのデータをノーコードで連携できる製品として、1 万社（2023 年 8 月 1 日現在）を超える企業に導入されています。その他、商談支援アプリ Handbook X は、資料や動画、Web サイトなどあらゆる情報をアプリにまとめて管理できるクラウドサービス。モバイルアプリ作成ツール Platio は誰でも簡単に自社の業務に合ったモバイルアプリをノーコードで作成・活用できるクラウドサービス。AI/IoT プラットフォーム Gravio は、カメラ・センサーなどから得られる現場の AI/IoT データを様々なシステムへ連携し、業務の自動化などをノーコードで実現するエッジコンピューティング・プラットフォーム。これらの製品提供を通じて、DX や業務の効率化を推進しています。2019 年には AI 専業子会社の Asteria ART 社（代表：園田智也）を設立し、AI の活用研究に注力。また、（一社）ブロックチェーン推進協会、ノーコード推進協会などの設立に参画するなど、様々なイノベーションを推進し新しいテクノロジーや価値観を普及啓発する活動にも取り組んでいます。

■「Tapway Sdn Bhd.」について（Web サイト https://gotapway.com/ ）

Tapway は革新的な AI ソリューションを通じてビジネス変革に貢献する先駆的なテクノロジー企業です。監視カメラの映像を価値の高いデータに変換し、意思決定、業務の効率化、セキュリティ強化を可能にします。自動化と効率化を重視した上で、複雑なタスクを簡素化し、業務ワークフローを強化するために設計された最先端の主力製品「SamurAI」を提供しています。
「SamurAI」は、2 つの強力なツール「SamurAI Copilot」と「SamurAI Central」で構成。
「SamurAI Copilot」は、ユーザー企業がコンプライアンスと監査を自動化するための究極のパートナーです。AI 駆動のチェックリストを利用し、タスクの合理化、コンプライアンス徹底、タイムリーなアラートを促すことで、シームレスでストレスフリーなプロセスを実現します。
「SamurAI Central」は完全ノーコードでコンピュータービジョン技術を使ったシステムの展開、構築が可能となる AI プラットフォームです。迅速かつ簡単に見える化を実現し、精度と信頼性を保証します。Tapway は AI の力を活用したビジネス変革と生産性の向上により、画期的な成果に貢献することに取り組んでいます。

■「Asteria AIoT Suite」 について（Web サイト https://www.gravio.com/jp/aiotsuite ）

ノーコード AI/IoT 統合プラットフォーム「Asteria AIoT Suite」は、Gravio、SamurAI、IVAR という 3 つのサービスで構成され、お客様の要望にあわせて画像認識 AI や IoT 活用、エッジにおけるデータ連携・統合をすべてノーコードで実現することができます。これにより AI と IoT を組み合わせた活用を簡単に実現し、業務の自動化・省力化・遠隔化を実現することが可能です。

■**「Gravio」 について**（Web サイト https://www.gravio.com/jp ）

ノーコードAI/IoTデータ連携・活用サービス 「Gravio」は、AI/IoTのデータや現場の様々なデータを収集し、ノーコードでクラウドや現場の機器とシームレスな連携をすることで、業務の自動化・省力化・遠隔化を実現するデータ連携・活用サービスです。直感的なノーコード操作と 60 種以上の豊富な接続先により、プログラミング未経験でも AI/IoT のシステム活用を簡単に実現できます。また、構築に必要なセンサー・ゲートウェイなどのハードウェア、ソフトウェア、データの蓄積・グラフ作成可能なクラウドサービスを、まとめてオールインワンのソリューションとして提供することで、シンプルかつ迅速にご利用いただけます。

【プレスリリースに関するお問い合わせ先（報道機関窓口）】

アステリア株式会社　広報・IR 部：長沼史宏・齋藤ひとみ

TEL: 03-5718-1297 ／ 携帯電話: 080-7709-5212（齋藤） ／ E-mail: press@asteria.com

【製品に関するお問い合わせ先】

アステリア株式会社　AI コネクテッド事業部：垂見智真

TEL：03-5718-1250 ／ E-mail：gravio-jp@asteria.com

アステリア、Asteria、Handbook、Platio、Gravio はアステリア株式会社の登録商標です。
本文中の商品名は、各社の商標または登録商標です。